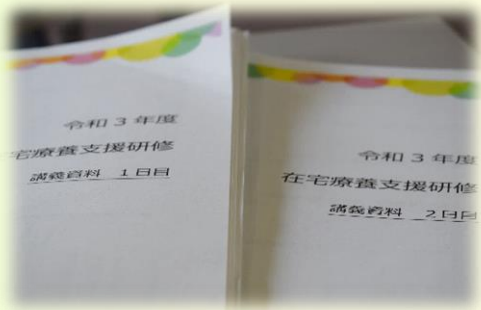


令和3年度 在宅療養支援研修



10月21日（木）～22日（金）

【研修目的】患者・家族が安心して地域で生活するための在宅療養支援に関する知識を習得し、実践に生かすことができる能力を向上する。
14病院から51名の方が受講されました。



1日目

◆ JCHOの取り組みとJCHOが目指す看護

講師：九州地区事務所 看護専門職 福嶋 ひろみ

◆ 医療・看護・介護施策の動向とJCHOの使命である地域包括ケアの推進

講師：宮崎江南病院 副看護部長 新町 智穂

◆ 病院における在宅療養支援とは

講師：徳山中央病院 副看護師長 高橋 映子

◆ 在宅療養支援の実際（MSWの立場から）

講師：宮崎江南病院 医療社会事業専門員 佐藤 貴代



2日目

◆在宅療養支援の実際（訪問看護ステーションの立場から）

講師：天草中央総合病院附属訪問看護ステーション 看護師長 川上 ゆみ

◆在宅療養支援調整の実際（ケアマネジャーの立場から）

講師：宮崎江南病院附属居宅看護支援センター 主任介護支援専門員 川越 大地

◆介護老人保健施設での在宅療養支援の実際

講師：下関医療センター附属介護老人保健施設 看護師長 佐原 知枝

◆地域包括ケア病棟での在宅療養支援の実際

講師：南海医療センター 看護師長 内村 由美

◆グループワーク：在宅療養支援を推進するために必要なことと私ができること

司会・進行：九州地区事務所 看護専門職 福嶋 ひろみ

ファシリテーター：南海医療センター 看護師長 内村 由美



「病院の患者ではなく、在宅で生活する人をイメージして退院支援に関わる」「自身の退院支援の視点を変える」「在宅復帰のための支援の様々な事例を聞くことができ、多職種との連携の大切さや患者の思いや願いを把握することが大切」など、アンケートに記載がありました。

研修の学びを活かし、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように支援できる看護職を目指しましょう。

講師の先生方
ありがとうございました。

